



ごあいさつ

おかげさまで相鉄ホールディングスは、2017年12月18日に創立100周年を迎えました。

相模川の砂利の運搬から始まった当社は、戦後に経営の多角化を図り、横浜駅西口の商業施設建設や沿線の開発、それに伴うさまざまな生活サービスの提供を通じて、今日の姿にまで成長しました。100年の歴史の過程は、苦難の連続でありましたが、諸先輩のご努力と関係各位のご支援のおかげで、幾多の苦難を乗り越えて、今日の相鉄グループがあるわけです。創立100年にあたってその歴史をあらためて思い起こし、ここに深い感謝と敬意を表する次第であります。

現在の我が国は、本格的な人口減少・高齢化社会の到来、急速な経済のグローバル化、地球環境問題の深刻化、環境や美しさを重視する国民の価値観の変化など、歴史的な転換期を迎えています。世界では、持続可能な社会の実現に向けて、環境問題や貧困、格差拡大等の諸問題に対する取り組みが広がっています。環境や社会問題とのつながりを考えて事業を進めることは、企業にとって社会的責任を果たすだけでなく、新たなビジネス機会を得たり事業のあり方を改善したりする好機にもなります。当社グループにおいても、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の軽減や多様性の尊重など、進むべき方向性の確立に多少なりとも貢献できればと考えております。

結びに、長年にわたって相鉄グループの事業を温かく見守り、ご支援いただいているお客様をはじめ、お取引先、株主、関係先の皆様に、改めて感謝の意を表する次第です。皆様には、本書によって当社グループに対するご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

相鉄ホールディングス株式会社
代表取締役会長

鳥居 眞



発刊にあたって

日頃は、皆様には相鉄グループをお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、相鉄ホールディングスは2017年12月18日をもちまして、創立100周年を迎えることができました。これもひとえに、お客様、地域の皆様、株主の皆様、関係者の皆様からの永年に亘るご愛顧とご支援の賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。

当社は、創立当初は地方の一小私鉄でありましたが、現在は鉄道業を基幹として、運輸業、流通業、不動産業、ホテル業などを展開する企業グループとして、地域の発展と共に歩み、地域社会に奉仕する企業として、皆様のさまざまな生活の中でお役に立たせていただいております。

顧みますと、今日までの100年は決して平たんなものではなく、関東大震災や太平洋戦争による被害、戦時中の会社合併など、組織自体の存続さえ危ぶまれる時期もありました。このような試練を乗り越えられたのは、先人の弛みない努力と当社をご支援いただいている関係各位の賜物であり、ここに改めて感謝と敬意を表する次第であります。

当社グループは、2005年からのグループ経営体制の下、更なる成長を目指して、JR線・東急線との相互直通事業や相鉄線沿線での再開発事業を進めており、またホテル業を中心に東京都心、全国そして海外へと事業領域の拡大を図っております。

これまで築いた財産を新しい時代への礎に、次の100年の更なる飛躍に向けて、これまで以上に発展させていく所存であります。

これからも「快適な暮らしをサポートする事業を通じてお客様の喜びを実現し、地域社会の豊かな発展に貢献する」という相鉄グループ基本理念に則り、お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの期待に応えるべく努力してまいります。

相鉄ホールディングス株式会社
代表取締役社長
社長執行役員

林 英一